

## 総評

気候変動が環境や健康に大きな影響を及ぼすと考えられており、石川県保健環境センターの取り組みも気候変動を見据えたものとなっている。令和6年度は、事前、中間、事後合わせて5件の研究評価を行った。

事前評価2件は、人流の活発化や気候変動により、今後リスクが増加する感染症について、感染経路や感染リスクを評価するための研究であり、いずれも十分な知識と経験に基づき計画されており、成果を期待したい。中間評価1件については、膨大な水質データと格闘中の研究であるが、気候変動に伴う影響の予測に役立つことを期待したい。事後評価2件については、食品による健康被害の原因を特定するための迅速な検査法を確立したもの、地下水のひ素汚染の実態を明らかにしたものであり、いずれも大きな成果が得られている。今後、成果の県民への発信はもとより、学会誌等でも公表を目指してほしい。

池本 良子